

ゼミ研究活動の紹介

1. 卒論（発表予定もしくは過去に発表された卒論）と研究内容

■ 卒論やフィールドワーク（平成28年度の卒業研究報告会）

- ①回転寿司店に染みつけた地域性、そして未来—店舗数と消費額、小学生の食嗜好からわかること—
- ②冷凍調理食品消費に関する研究—消費額の地域格差とその要因—
- ③プロ野球人気の現状と今後の在り方—野球は本当に衰退しているのか—
- ④Jリーグのビジネスモデルの研究—各クラブの収益構造の特徴と勝利との関係—
- ⑤ビジネスと音楽—現在、未来の音楽業界を考える—
- ⑥名古屋の風土と芸術—名古屋は芸術にお金を使わないのか—
- ⑦東京ディズニーリゾート—経営戦略とホスピタリティ—
- ⑧災害遺跡に学ぶ西尾市の防災—知っておきたい街角の証人たち—

■ ゼミ研究活動（演習時間中での研究内容）

3年生は、前期に家計調査のデータを使って、その分析を行い、論文としてまとめ、プレゼンテーション資料を作っています。後期は企業を調査して、同じく論文、プレゼンテーション資料を作ります。年度末には、1年間の研究を総括して報告書を作ります。テーマは各自で選んでいます。

4年生は、各自で選んだテーマについて、3年生の時にマスターした手法を応用して、卒業研究を行います。分析や論文執筆は先生と相談して進めています。

2. 特記事項（研究会、発表などの研究活動）

②研究会発表

3・4年生合同のジョイントセミナーを2回、卒業研究報告会を1回、開催しています。

ジョイントセミナー

4年生が、昨年度1年間に研究したテーマのプレゼンテーションを行い、その成果を3年生と一緒に共有するセミナーです。プレゼンテーションと質疑応答の練習も兼ねています。

卒業研究報告会

4年生が、1年間に研究したテーマを報告する会です。2年間でマスターした分析手法、プレゼンテーションの集大成であり、オリジナリティを表現する場でもあります。